

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

車両運搬具及び備品……定額法によっている。

ソフトウェア ……定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

ただし、検診車の取得価額については税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	4,741,824	370,719		5,112,543
検診車買換積立預金	74,300,000	15,000,000		89,300,000
検診車買換引当預金	0			0
小 計	79,041,824	15,370,719	0	94,412,543
合 計	109,041,824	15,370,719	0	124,412,543

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(30,000,000)	—	—
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	5,112,543	—	(5,112,543)	(5,100,540)
検診車買換積当預金	89,300,000	(89,300,000)	—	—
小 計	94,412,543	(89,300,000)	(5,112,543)	(5,100,540)
合 計	124,412,543	(119,300,000)	(5,112,543)	(5,100,540)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	152,424,030	152,424,028	2
備品	4,620,600	4,620,592	8
合 計	157,044,630	157,044,620	10